

令和三年度の総合水産試験場の取組みについて

長崎県総合水産試験場 企画開発推進室

はじめに

皆様方には水産試験場の業務推進に関し、日頃からご支援・ご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

県総合計画の個別計画である「長崎県水産業振興基本計画」が令和三年度から新たにスタートします。水産試験場では本基本計画に基づく各種施策の実現に向けて、試験研究や技術開発の計画的な推進に取り組んでいきます。

また、「開かれた試験場」として、加工機器等の設備を開放し、水産業界や県民の皆様の実践を踏まえた技術指導を引き続き実施します。ここでは、本年度の主な取組みを紹介します。

主な事業の紹介

新規事業

○長崎県養殖特産種創出のための生産技術開発事業

予算額：七、五三二千元

養殖業の収益向上と経営安定を図るため、既存の主要養殖対象種に加えて新たな養殖特産種として、高成長や高水温耐性等が期待できるウスバハギ及びサバ類の種苗生産技術を開発します。

○トラフグ養殖収益性向上のための育種研究事業

予算額：九、一七八千元

全国生産量一位の地位を占めながら、魚価の低迷、消費者の高級魚離れ、餌料の高騰等から

厳しい環境に置かれているトラフグ養殖の収益性向上を目指し、育種技術による優良種苗の開発と普及を図ります。

継続事業

○沿岸漁業支援事業

予算額：一〇、二四九千元

これまでに長崎県が開発・提供してきた有用な漁海況情報や調査技術に加え、水産研究・教育機構や大学等との連携により得られた技術を活用することで、より実用的な知見や技術の迅速な提供を行います。

○栽培漁業対象種の資源管理・放流技術高度化事業

予算額：五、二七七千元

県の「第7次栽培漁業基本計画」に基づき、ガザミ、ナマコ、クエ等について、効果の高い種苗放流に適切な資源管理を組み合わせた「資源増殖」を推進します。

○諫早湾貝類新增養殖技術開発

予算額：一、九五四千元

諫早湾内の主要養殖種（アサリ、マガキ）について、新しい増養殖技術開発と技術改善により、生産の安定と生産性の向上を目指します。

○温暖化に対応した藻類増養殖技術開発

予算額：四、四三三千元

温暖化の影響による藻場や藻類養殖への影響

を把握し、環境変化に応じた藻場造成技術やワカメ・ヒジキ等の増養殖技術の改良・開発を行います。

○真珠養殖業生産性向上対策事業

予算額：二、四二三千円

真珠養殖業の収益性向上のため、真珠組合や水産部関係各課と連携して、抑制貝の生残率向上や施術後の脱核率軽減に関する養殖技術を開発します。

○ニーズに対応した水産加工技術支援事業

予算額：二、四七二千円

本県水産加工業者による簡便、安全・安心、高い保存性等のニーズに対応した新たな製品開発を支援するため、開放実験室を活用した試作指導や現地での技術指導等を行います。

○発酵技術を用いた県産魚の新たな利用法の開発

予算額：二、七二九千円

水産発酵食品において、食中毒の原因物質となるヒスタミンの蓄積抑制技術を確立します。また、低利用魚等を活用した魚醤油及び魚類糠漬の製造技術を開発し、付加価値向上を図ります。

○県産ブリの付加価値向上を図る新技術の開発

予算額：七、八一六千円

全国有数の漁獲量を誇る本県産ブリの大半を占める非常に安価な「彼岸ぶり」を対象に、加工原料及び養殖用種苗として活用するための技術を開発します。

○有害有毒プランクトン対策事業

予算額：五、九九三千円

有害・有毒プランクトンに起因する養殖生物のへい死を防止・軽減し、二枚貝の有毒化による食中毒を防止するために漁場環境調査、貝毒発生監視、プランクトンの動態・消長予測と防除法の検討等を行います。

○養殖魚の安定生産技術開発事業

予算額：七、三〇三千円

収益性の高い養殖業を実現するために、海外輸出または国内販売において、競争力のある養殖魚種を高品質かつ低コストで安定生産するための飼育技術及び疾病対策技術を開発します。

この他、「有明海特産魚介類生息環境調査」、「有明海漁業振興技術開発事業」等についても水産部関係各課と連携して取り組んでいます。

水産技術研究所及び長崎大学との連携

水産試験場に隣接する「国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所」及び「長崎大学海洋未来イノベーション機構環東シナ海環境資源研究センター」との連携強化を図り、共同研究に取り組む他、漁業者との意見交換会や広く一般に公開する「ながさき水産科学フェア」の共同開催等を実施します。

情報の発信

○研修会の開催

試験研究の取組内容について、漁業者等関係する方々の理解と関心を深めて頂くため、各地域で研究成果の紹介や意見交換を行う研修会「出前水試」を開催します。

○漁海況情報

漁業活動を支援するため、毎週金曜日に発行する「漁海況週報」、随時発行する「漁海況通信」は、県庁ホームページで最新情報及びバックナンバーを掲載しています。また、これらの情報は市町や漁協に対して電子メール等で配信することで、漁業者の皆様目の触れる機会を増やすよう努めています。

○技術情報

施設紹介、研究報告、情報サービス、試験研究情報等を県庁ホームページで公表しています。また、魚の捌き方等も掲載しています。

<http://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

おむかひ

水産業の振興や試験研究に関して、皆様からのご意見やご要望等がございましたら、水産試験場企画開発推進室（〇九五・八五〇・六二九四）もしくは、最寄りの水産業普及指導センターまで、ご連絡頂きますようお願いいたします。

（企画開発推進室 水田浩二）